Creative Enzymes®

ジペプチジルペプチダーゼIV (DPP-IV)、食品グレード

Cat. No. NATC-205

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	ジペプチジルポリペプチダーゼIV（DPPIV）、別名アデノシンデアミナーゼ複合体タンパク質2またはCD26は、ほとんどの細胞型の表面に発現する抗原性酵素であり、免疫調節、シグナル伝達およびアポトーシスに関連しています。これは先天的な膜糖タンパク質およびセリンエキソペプチダーゼです。DPPIVはグルコース代謝において重要な役割を果たし、GLP-1などの腸内インスリンの分解を担当しています。さらに、がんや腫瘍の発生を抑制します。肝臓や腎臓などの多くの臓器における線維症の発展に病原性の役割を果たします。DPPIVは腫瘍生物学において重要な役割を果たし、さまざまながんの強力なマーカーであり、いくつかの腫瘍の細胞表面または血清中でレベルが上昇し、他の腫瘍では減少します。中東呼吸症候群コロナウイルス、新しいSARS関連コロナウイルスは、DPPIVに結合することが発見されています。DPPIVは気道（例：肺）や腎臓の細胞表面に存在し、科学者たちはウイルスの細胞への侵入を阻止するためにそれらを利用しています。
用途	ジペプチジルポリペプチダーゼ IV (DPP-IV) は、複数の用途を持つ重要なタンパク質加水分解酵素です： 糖尿病の治療：DPP-IV 阻害剤であるシタグリプチンやリリグリプチンは、GLP-1 の作用を延長し、血糖値のコントロールを助けます。 免疫調節：DPP-IV は T 細胞の活性化に関与しており、阻害剤は自己免疫疾患の調節に使用できます。 癌研究：DPP-IV は特定の癌で異常に発現しており、潜在的な治療ターゲットです。 肥□およびメタボリックシンドローム：GLP-1 の効果を□強することにより、DPP-IV 阻害剤は体重管理や代謝の健康に使用できます。 神□障害：DPP-IV 阻害剤は、アルツハイマー病やパーキンソン病において神□炎症を□減し、神□細胞を保護する可能性があります。

製品情報

由来	アスペルギルス・オリゼー
外□	淡黄色の粉
形態	粉末
比活性	20000 DPP IV-PANU/g

保管・発送情報

保存方法	涼しく、通気性があり、乾燥した場所に保管し、直射日光を避けてください。